

令和5年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第1回定例会議録

1. 日 時

令和5年5月15日（月）14：00～16：00

2. 場 所

神戸市中央区文化センター1112 会議室（中央区東町 115 番地）

3. 出席者

(1) 構成団体 11 団体の内 11 団体出席

※規約第6条第2項の規定により会議成立

(2) 出席者氏名 別紙名簿のとおり（一般傍聴者2名）

4. 議 事

【協議事項】

(1) 令和4年度事業報告

- ・月1回の事業部会で TNR を実施する地域を決定し、1,929 匹の不妊手術を行った。情報提供の地域についても積極的に協議会が直営で実施した。
- ・給餌・糞尿等に関する指導助言を協力が者がサポートで実施する地域や協議会が直営で実施する地域で行った。また、自治会等で行われる地域猫にかかわる会合に参加し、協議会の活動の説明や意見交換を行った。
- ・協議会主催の譲渡会を3回実施するとともに、各団体の譲渡会の案内を HP で紹介した。
- ・企業、個人からの寄付を募るとともに、動物病院等に募金箱を設置し、多くの市民から募金をいただいた。
- ・過去6年間の支援申込・情報提供、不妊手術をマップに落とし込み、見える化した。

(2) 令和4年度決算報告

- ・収入 21,022,092 円（市補助金 13,541,672 円、繰越金 1,213,801 円、寄付 6,266,554 円、雑収入 65 円）
- ・支出 18,693,246 円（野良猫繁殖制限事業費 17,056,445 円、給餌等指導助言費 265,000 円、猫の譲渡推進事業費 127,098 円、定例会議費 35,100 円、事務費 1,213,801 円、保険料 127,500 円）
- ・繰越金 2,328,846 円

について報告

(3) 令和5年度事業計画案

- ・4年度同様、野良猫の繁殖制限事業、給餌・糞尿等に関する指導助言、譲渡の推進等を実施。野良猫の不妊去勢手術は2,000匹とする。

(4) 令和5年度予算案

- ・収入 21,900,000 円（市補助金 16,310,000 円、繰越金 2,328,846 円、募金・寄付

3,261,154 円)

- ・支出 21,900,000 円（野良猫繁殖制限事業費 20,630,000 円、給餌等指導助言費 240,000 円、猫の譲渡推進事業費 234,000 円、定例会議費 66,000 円、事務費 500,000 円、保険料 130,000 円、予備費 100,000 円）

(5) 実費弁償等に関する規定改定

- ・第 3 条第 1 項の繁殖制限事業にかかわる事前周知、猫の捕獲、動物病院への搬送、リリース、事後調査にかかわる協力者の実費弁償を 1 日 3,000 円から、2 時間未満 2,000 円、2 時間以上 4 時間未満 3,000 円、4 時間以上 4,000 円に変更し、当該規定は協議会が実施する譲渡会等の事業において運営を依頼した協力者にも適用することに改める。
- ・第 3 条第 2 項の不妊手術の費用を 1 匹 8,148 円から 10,000 円に変更する（本年度は、市の補助金に手術手数料の上乗せ分を計上していないため、不足分は協議会の繰越金、寄付金等を充てることとする。また、協議会が支給していたノミダニ駆除剤は、動物病院が購入することとする）。
- ・令和 5 年 4 月 1 日に遡及して適用する。

※協議事項 (3) については、2.人と猫との共生推進事業にかかわる各種啓発の (2) の次に (3) 地域猫活動の啓発推進を追加し、以下 (3)、(4) をそれぞれ (4)、(5) とする修正案が出され、承認されるとともに、他の協議事項はすべて承認された。

【神戸市の条例取り組み状況】

- ・市で引き取った猫の譲渡を継続的に推進しており、結果として殺処分数が減少している（4 年度の殺処分は 51 匹、殺処分率は 28.7%）。国が定めた目標値（2018 年度比 50%）に対し、市はさらにその半減の目標（50 匹以下）としている。
- ・高齢者や多頭飼育崩壊による猫の引き取りが多くなっており、福祉関連部局との連携を進めているが、協議会でも問題解決について協議できたらと考えている。
- ・ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング（現在審査中）により多くの寄付を集め、協議会事業にも充当していく。

【主な意見等】

- ・多頭飼育崩壊については、すべて行政で収容、譲渡するのではなく、手術後に一定頭数は飼い主に返還し、責任を持たせるべきである（猫ネット）
- ・野良猫の殺処分は減っているが、飼育猫は減っていない。多頭飼育崩壊があると、一度に多くの猫が持ち込まれ、動物管理センターのキャパがオーバーしてしまう。福祉部局と連携し、増やさないための不妊手術などを推進していきたい。
- ・動物虐待は、人への暴行につながる。また、野良猫が増えると、虐待も増える傾向にあるので、地域猫活動が全国的に広がりを見せているのは好ましい（動物福祉協会）。
- ・商店街連合会ではいろいろな媒体を使って広報を行っている。2 月に 1 回新聞を発行し

ているので、地域猫について取り上げてもよい（商店街連合会）。

- ・自治会に対するチラシ、ポスターがあれば掲示板もあるので協力する（自治連合会）。

- ・新聞は、ネット媒体をいろいろ持っている。猫に関する記事はキラーコンテンツなので譲渡会情報など届けられる（神戸新聞）。

- ・チラシを作るのにイラストを所持しており、貸出できるので利用してほしい（フェリシモ）。

- ・垂水の顧客の会場を利用してピュリナのネコのバス譲渡会を開催した際、保護主から苦労話をいろいろ聞いて良かった（あいおいニッセイ同和損保）

- ・12月に神戸で獣医師会の大会があり、動物虐待の事案とともに、地域猫の活動も紹介できたらと考えている（獣医師会）

- ・広報紙や各団体のツールを活用して啓発を行った際には、情報共有を行うことが望ましい。SNS や会合への参加など、広報計画を立ててはどうか（Knots）。

令和5年度 第1回定例会議出席者名簿

神戸市人と猫との共生推進協議会

敬称略

所属	職名	氏名
公益社団法人 神戸市獣医師会	会長	中島 克元
	副会長	岸本 英一
	事業担当委員	橋本 裕規
特定非営利活動法人 神戸猫ネット	理事長	杉野 千恵子
	副理事長	高野 稔
	事務局長	下村 美鈴
公益社団法人 日本動物福祉協会	顧問	山口 千津子
公益社団法人 Knots	理事長	富永 佳与子
	事務局長	北村 美代子
株式会社 フェリシモ	生活雑貨事業部猫部G/キャラクターG 上席係長	小木 のり子
	同上 G 課員	山口 由莉
ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア	マーケティング統括部 コーポレートブランドマネジャー	内記 利宏
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社神戸支店	部支店スタッフ 担当次長	和田 由佳
神戸市自治会連絡協議会	副会長	新渡戸 素
一般社団法人 神戸市婦人団体協議会	理事	高尾 ひろ子
神戸市商店街連合会	専務理事兼事務局長	村上 安弘
株式会社 神戸新聞社	報道部 デスク 論説委員	木村 信行

構成団体加入申込者

特定非営利活動法人 どうぶつ弁護団	理事長	細川 敦史
	理事	勝又 陽香

規約第5条第4項に基づく出席者

神戸市健康局	生活衛生担当部長	丸尾 登
	環境衛生課長	木村 知紀
	環境衛生担当課長	玉嵯 一彦
	動物管理センター担当課長	湯木 麻里
	環境衛生課環境衛生担当係長	今田 吉隆